

千葉交響楽団演奏会

山下一史

指揮

チェロ

宮田

大



©Jai ueda

指揮

Kazufumi Yamashita



©日本コロムビア

チェロ

Dai Miyata

千葉県の誇る千葉交響楽団が
山下一史による情熱的なタクトとともに
俊英のチェリスト宮田大をソリストに
迎えて贈る渾身のチェロコンチェルト!!

【プログラム】

※都合により出演者・曲目等を変更する場合があります

ドヴォルザーク チェロ協奏曲 チャイコフスキー 交響曲 第4番



管弦楽 *Chiba Symphony Orchestra*

©金野祥

2023

11/12

〈日〉

開演 14:00

[開場 13:15]

君津市民文化ホール 大ホール

全席指定 一般 3,500円 高校生以下 1,000円

◆未就学児の入場はご遠慮ください ◆無料駐車場830台完備

プレイガイド

6/24 (土)発売開始

君津市民文化ホール

☎0439-55-3300

コンドー楽器 木更津本店

☎0438-23-5511

ローソンチケット (Lコード: 34665)

<https://l-tike.com/>

文化ホールでの発売初日はオンライン予約と電話予約を
9:00 より開始、窓口販売は翌日 9:00 より開始いたします

◆車椅子席をご利用の方は君津市民文化ホールまでご連絡ください

問合せ: 君津市民文化ホール ☎0439-55-3300 <https://www.kimibun.jp/>
〒299-1172 千葉県君津市三直622

主催: 千葉県 / 公益財団法人君津市文化振興財団 / 虹の音楽会

後援: 安房・上総地区吹奏楽連盟 / 株式会社コンドー楽器



← <http://www.kimibun.jp/>で オンライン予約 をクリック!
文化ホールのホームページからチケット予約できます! ※オンライン予約は要利用登録 (無料)



君津市民文化ホール LINE 公式アカウント
「友だち追加」すると公演情報がスマホに!



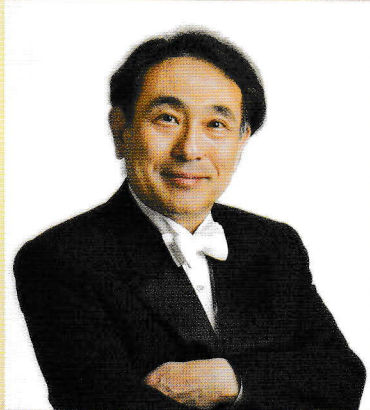
Chiba Symphony Orchestra Concert

Kazufumi Yamashita × Dai Miyata

やました かずふみ

山下一史 〈指揮〉

1984年、桐朋学園大学を卒業、ベルリン芸術大学に留学。1986年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。カラヤンが亡くなるまで彼のアシスタントを務める。以後、ヨーロッパでの実績を重ね、ヘルシンボリ交響楽団（スウェーデン）の首席客演指揮者を務めた。



©ai ueda

日本国内ではNHK交響楽団を指揮してデビュー、以後、国内の主要オーケストラに定期的に出演し、好評を得ている。これまでにオーケストラ・アンサンブル金沢のプリンシパル・ゲスト・コンダクター、九州交響楽団常任指揮者、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団常任指揮者を務め、2008年4月同団名誉指揮者に就任。2006年4月からは仙台フィルより指揮者として迎えられ、2009年4月から2012年3月まで同団の正指揮者を務める。2011年2月にはシューマン作曲歌劇「ゲノフェーファ」日本舞台初演や、2013年1月と2016年3月には水野修孝作曲歌劇「天守物語」を指揮するなど、現在、オペラ、オーケストラの両面において、ますます注目を浴びている。

2016年4月に千葉交響楽団音楽監督に就任、「おらがまちのオーケストラ」をキャッチフレーズに、定期公演のみならず音楽鑑賞教室も積極的に指揮、千葉県民に愛されるオーケストラを目指し、同楽団の評価を着実に高めている。

東京藝術大学音楽学部指揮科教授として、後進の育成にも心血を注いでいる。

2022年4月から愛知室内オーケストラ音楽監督、大阪交響楽団常任指揮者に就任。

みやた だい

宮田 大 〈チェロ〉



©日本コロムビア

2009年ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールにおいて、日本人として初めて優勝。これまでに参加した全てのコンクールで優勝を果たしている。その圧倒的な演奏は、作曲家や共演者からの支持が厚く、世界的指揮者・小澤征爾にも絶賛

され、日本を代表するチェリストとして国際的な活動を繰り広げている。スイスのジュネーヴ音楽院卒業、ドイツのクロンベルク・アカデミー修了。

チェロを倉田澄子、フランス・ヘルメルソンの各氏に、室内楽を東京クワルテット、原田禎夫、原田幸一郎、加藤知子、今井信子、リチャード・ヤング、ガボール・タカーチ=ナジの各氏に師事する。マスメディアでも「小澤征爾さんと音楽で語った日~チェリスト・宮田大・25歳~」「題名のない音楽会」「徹子の部屋」「クラシックTV」などへ出演している。

録音活動も活発で、最新アルバムは2022年10月に『ラフマニノフ：チェロ・ソナタ』をリリース。2019年はトーマス・ダウスゴー指揮、BBCスコッティッシュ交響楽団との共演による「エルガー：チェロ協奏曲」をリリース。欧米盤が、欧州のクラシック界における権威のある賞の一つ「OPUS KLASSIK 2021」において、コンチェルト部門(チェロ)で受賞。

そのほか「Piazzolla」「Travelogue」などをリリース。

近年は国際コンクールでの審査員や、2019年ロームミュージックセミナーの講師を務めるなど、若手の育成にも力を入れている。

使用楽器は、上野製菓株式会社より貸与された1698年製A. ストラディヴァリウス“Cholmondeley”である。

千葉交響楽団 〈管弦楽〉



©金潮社

千葉交響楽団は、千葉県唯一のプロオーケストラであり、前身であるニューフィルハーモニーオーケストラ千葉の31年間の活動を引き継ぎ、2016年10月に千葉交響楽団と改称した。定期演奏会をはじめ、県民芸術劇場や各地での演奏会など、毎年およそ20回のコンサートを行い、千葉県の音楽文化の向上に努めている。また、次代を担う子どもたちに向けては、千葉県及び各市町村教育委員会の共催事業である「小中高等学校音楽鑑賞教室」を毎年50校ほど実施するとともに、幼稚園や特別支援学校への訪問演奏や、音楽鑑賞団体からの依頼公演、小編成の室内楽など、あわせて年間およそ150回のコンサートを行って、音楽の素晴らしさを伝え続けている。

2016年4月に音楽監督として山下一史氏を招聘し新たな挑戦を始め、新鮮で熱気あふれる演奏は、多くの千葉県民の皆様から支持を得ており、「おらがまちのオーケストラ」と親しまれ、愛されるオーケストラとしての地位を着実に築いている。